



Sustainability Report 2024



Summary

What is SATOYAMA EXPERIENCE ?

Our Mission ～私たちのミッション～

Our Cycling Tours ～私たちの提供するサイクリングツアー～

Our Walking Tours ～私たちの提供する町歩きツアー～

SATOYAMA STAY ～100年後の町並みをつくる宿～

Cooperate Dinner Service with a Local Restaurant

100% Renewable Energy ～100%再生可能エネルギー導入～

Social Contributions ～地域貢献～

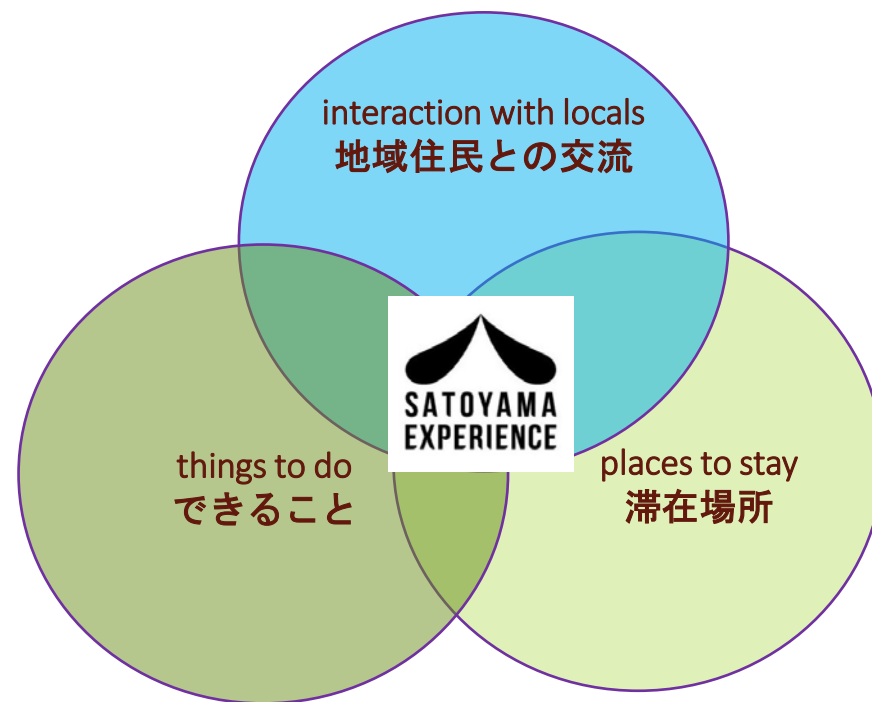
Energy Consumption & CO2 Emission

Our Team Building ～私たちのチームビルディング～

Our Vegetable Garden ～美ら農園便り～

What is SATOYAMA EXPERIENCE ?

SATOYAMA EXPERIENCEは、2010年に飛騨地域におけるガイドツアーや旅行手配サービスの提供を開始し、飛騨地域に現存する古くからある日本の良き里山文化をこの先も持続可能なものとしていくためにも、「暮らしを旅する」をコンセプトとしたツアーを運営してきました。飛騨古川の魅力をより多くの人に知ってもらうためにも、より長く滞在してもらえよう2020年夏には、新たに分散型宿泊施設を目指したSATOYAMA STAYをオープンしました。そんなSATOYAMA EXPERIENCEが提供するすべてのサービスは、旅行者と地域住民をつなぐことを目的としています。





Our Mission ～私たちのミッション～

「日本の田舎に残された伝統文化や風景、
自然を守り、その素晴らしさを地元の人々、
訪れる人々と共有することにより、里山の継承、
美ら地球の持続に貢献します」

We contribute to the inheritance of satoyama and the sustainability of our beautiful planet by preserving the traditional culture, landscape, and nature left in the Japanese countryside and sharing its splendor with locals and visitors.





Our Cycling Tours ～私たちの提供するサイクリングツアー～

Connects tourists with local lifestyles and landscapes in Satoyama

2534人



途中でちょっとお手伝い

飛騨の里山の魅力をツアーを通して旅行者に伝え、今ある風景がどれだけ貴重で価値もあるものであるかを地域住民へ伝えることが重要であると私たちは考えます



今では元気に「ハロー」と挨拶してくれる

旅行者と地域住民の良き架け橋であり続ける





Our Walking Tours ～私たちの提供する町歩きツアー～

Discoveries of History, Culture, Crafts, Food and More in Hida

2604人



私たちは地域の伝統文化を受継いでいく人々を尊敬します



地域住民の人々が脈々と受け継いでいる昔ながらのものづくりや伝統行事を私たちはツアーにおいてガイドを通して紹介し、支援します





SATOYAMA STAY ～100年後の町並みをつくる宿～

A gateway to the real local culture of the Japanese countryside

450人

Message from the local architect of SATOYAMA STAY

正面ファサードは古川に昔から伝わる不文律“ そうば”の精神を尊重し、一階入り口には、大戸を配し、吹寄せ連子格子を設け、2階には板連子を配した。板連子の後ろは奥行1間の廊下を設け、春には古川びとが辛い冬をじっと耐え、待ちに待った、天下の奇祭”起こし太鼓を見物する格好の観覧席になる。

ファサードは敢えて軒高を高くせず、隣家の軒高と合わせることでより景観に配慮した設計としている。内部には古民家に使われる手法、厚鴨居、併せて小屋梁を中間で支える牛丸太を多用し圧倒的な木の存在感を漂わせた。

今回のプロジェクトが、やがては魅力ある町並みを形成する一つの核となることを信じてやまない。

時と時を繋ぐ仕事をさせて頂いている者にとっては新旧の町並みの継ぎ接ぎもまた、時間の積み重ねを現わしているように見える。これまでの町並みの記憶に、これから始まる町並みの時間が積み重なっていく。

この建物が、50年後、100年後、訪れる人たちにどのような囁きをしてくれるか楽しみである。

建築設計デザム

¹¹ 1級建築士 竹林 幸信

Cooperate Dinner Service with a Local Restaurant

しなのや (Shinanoya)

An izakaya bar that offers European dishes
with selected wines, as well as
dishes inspired by traditional Hida cuisine.

20人



SATOYAMA STAYはアルベルゴ・ディフーゾ(Albergo Diffuso)としてその運営を開始しました。昔からある地元の飲食店が閉店していく中、その維持存続に少しでも貢献できるよう、現在はそんな地元飲食店と連携した夕食提供サービスの確立に取り組んでいます。「しなのや」はその連携第1号店です。今後もより多くの地元飲食店と連携し、少しでも飛騨古川の地域活性へとつなげられるよう取り組んでいきます。



Social Contributions ~地域貢献~

We are happy to be a part of the area

地元飲食店向け接客英語学習会

訪日観光客が年々増加している中、飛騨古川に訪れる外国人観光客数も増えてきています。これまでは利用するのは日本人観光客、むしろ地元住民同士の交流の場として主に活用されてきた昔からある地元飲食店では言語が異なるのでコミュニケーションができないという接客への不安や抵抗感から、外国人観光客の受入れに対してかなり消極的である店舗も少なくありません。

そのような状況の中で何かできないかと考えたスタッフが、SATOYAMA EXPERIENCEのワークショップスペースを利用して簡単な接客に役立つフレーズを紹介したロールプレイ形式の学習会を実施しました。



古川西小学校 特別講師訪問

地元にある古川西小学校において、6学年生（約60名）を対象として自分たちが普段生活する場所の魅力を学ぶための授業「飛騨古川の魅力再発見」が実施されました。その授業に弊社CEOと地元インターン学生が外部特別講師として参加しました。

飛騨古川のこれからを作っていく担い手となる地元の子供たちに今も残る飛騨古川の町並みや人々の暮らしが外の人間、特に外国人にとってとても貴重で魅力的なものであるということに気付いて欲しいという強い思いを込めて、対話してきました。



古川小学校 鉋削り体験学習

飛騨市古川小学校では、学校運営協議会が母体となって「ふるさとアドバイザー」を配置することで各学年がテーマに応じた地域の講師や素材を紹介してもらい、授業を実施するプログラムがあります。地元である飛騨古川の自然や文化、地域に貢献している住民との交流を通して、児童に地域の一員であることの自覚を促し、地域との関わりを考える中で問題解決能力の向上を目指しています。

この活動にSATOYAMA EXPERIENCEも参加し、飛騨古川の町並みとその要となる伝統木工技術を継承する「飛騨の匠」をテーマとした郊外学習授業を実施しました。



種倉を守り育む会

飛騨市宮川町にある種倉地区には斜面に石積みの棚田が広がり、穀物などを保管する昔ながらの「板蔵」が数多く残っています。その景観保護のためにも、毎年棚田を獣害から守るための柵を雪解けの時期に設置し、雪深くなる冬季は撤去しています。

SATOYAMA EXPERIENCEの母体である株式会社美ら地球はこの会の会員として名を連ね、四季折々に実施されている景観保護のための作業にお手伝いとしてスタッフを派遣しています。



100% Renewable Energy

～100% 再生可能エネルギー導入再開～

ミライズGreen電気

2024年8月まで

ハチドリ電力

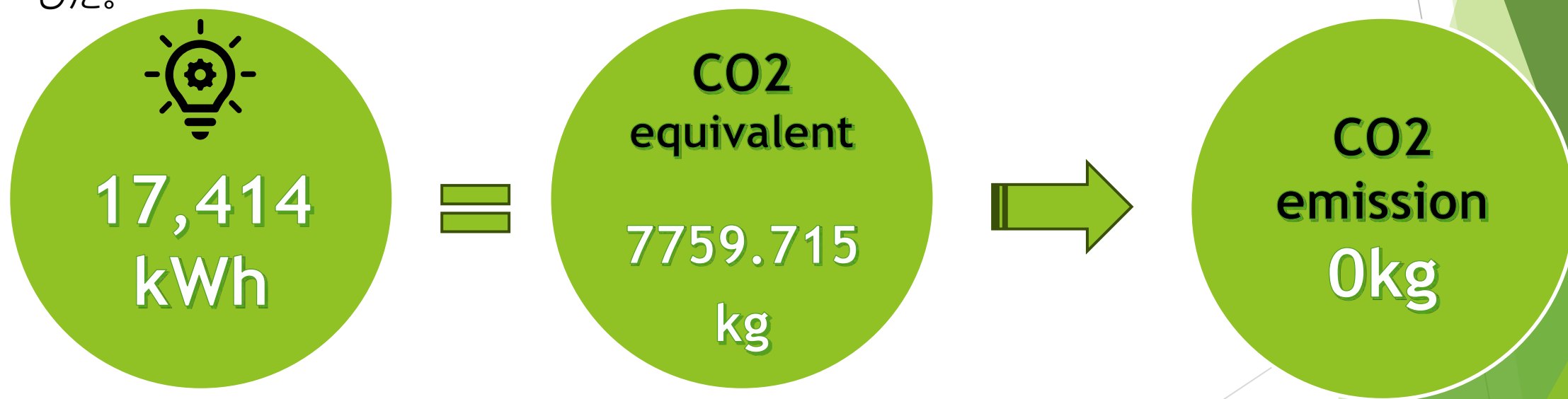
2024年9月以降

地球にやさしく、未来をあかるく。



Energy Consumption & CO2 Emission

SATOYAMA EXPERIENCEでは、2020年9月より100%自然由来のエネルギーを供給するハチドリ電力への切り替えを開始しました。その後、世界的な経済回復によるエネルギー需要増加やウクライナ情勢の影響を受けた電力価格高騰の長期化予想によりハチドリ電力が固定料金プランを廃止したため、2022年6月から2024年8月までの期間は所有するメイン施設においてのみ、中部電力の提供するCO2フリーメニュープランを代替のCO2ゼロ排出電力として利用していましたが、この度、2024年9月から全関連施設におけるエネルギー供給源をハチドリ電力への切り替えを実施しました。

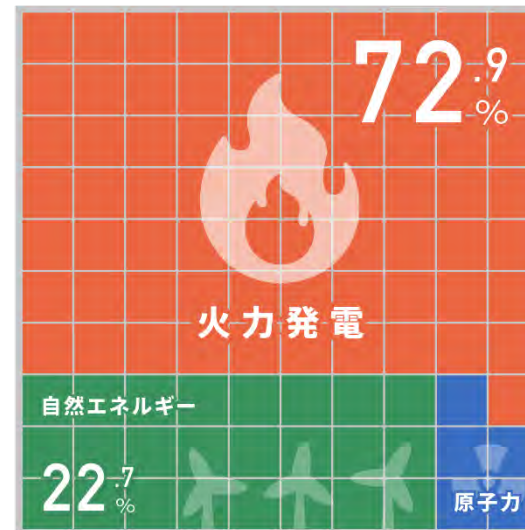




自然エネルギー基金 Natural Energy Fund

毎月支払う電気料金の1%相当の金額を自然エネルギー発電所を増やしていくための基金として寄付しています。

1652円



出典：環境エネルギー政策研究所（ISEP調べ） 2022年

普段使用している電気の約80%が火力発電によるものであり、日本におけるCO2排出の最大要因となっています。

そのため、SATOYAMA EXPERIENCEでは2020年以降は自然エネルギー使用へ切り替えを実施してきました。

Hachidori 1 action project ～ひとしずくアクション～

ハチドリ電力を通して毎月の電気料金の1%相当額を社会貢献活動として寄付しています。

1652円

▶ NPO法人循環生活研究所

Project① ダンボールコンポスト

生ごみには約90%も水分があり、焼却する際に大量のエネルギーを消費しています。ダンボールコンポスト（家庭の生ごみをコンポスト基材に混ぜて分解させ、堆肥を作る道具のこと）を普及させることで、エネルギーの消費を抑えています。

Project② ローカルフードサイクリング

生ごみには豊富な栄養が含まれており、捨ててしまうのは非常にもったいないこと。生ごみを資源として堆肥化し、野菜に変えて地域内に流通するコミュニティづくりに取り組んでいます。

Project③ 啓発活動

自分の暮らしに関わるさまざまなことを「自分ゴト」として考え、一歩踏み出せる人が増える社会を実現するため、「たのしい循環生活」を身につけるための活動をあらゆる現場で実施しています。





Our Team Building ～私たちのチームビルディング～
Monthly All staff Meetings are held at our public space

チームビルディング社内研修

ギャラップ社の提供するストレングスファインダーを用いて各スタッフの資質を発見し、個々の強み・弱みを正しく理解することで適切なサポートおよび業務を最適化することでチームのパフォーマンス力をより高めていくことを目指しています。

2019年に試験的導入を開始し、2024年から本格的に社内研修の一環として動き出しました。



Our Vegetable Garden

～美ら農園便り～

▶ 土づくり

拾ってきた落ち葉と刈ってきたススキを細断して土に混ぜ込み、さらにご近所の精米店から購入した米ぬかと知り合いの地元飛騨牛牧場から貰ってきた牛糞堆肥も撒いて2025年の野菜づくりのための土壌づくりをスタッフで協力して実施しました。

▶ コンポストの常設

コンポスト処理可能な生ごみは全て堆肥にして施設裏庭にある畑スペースへ還元しています。

